

〈ながしん〉地域密着型金融の取組状況について

(2018年4月～2019年3月)

地域密着型金融は、当金庫が協同組織金融機関としての使命を果たすべき業務活動の根幹であることから、「3か年経営計画」において取り組むべき重点課題を明示するとともに、具体的な施策については毎年度「事業計画」を策定し、PDCA管理のもと推進を図っています。

なお、2018年度は、新3か年経営計画「〈ながしん〉「共創力」発揮3か年計画～地域と共に未来へ歩み続ける協同組織金融機関を目指して～(2018年度～2020年度)」の初年度として、基本方針に基づく4つの重点戦略として「営業力・支援力の強化」、「経営力・内部態勢の充実」、「人材力・組織力の深化」、「業界総合力の活用」の着実な進展に取り組み、お取引先をはじめ地域の皆さまとの更なる連携強化を図りながら、地域の活性化、持続的発展に努めました。

特に、「地域密着型金融」に関わる

1. 顧客企業等に対するコンサルティング機能の発揮
2. 地域の面的再生への積極的な参画

における取組状況は、別紙のとおりです。

〔別紙〕〈ながしん〉地域密着型金融の取組状況(2018年4月～2019年3月)

〈ながしん〉地域密着型金融の取組状況（2018年4月～2019年3月）

1. 顧客企業等に対するコンサルティング機能の発揮

当金庫は、地域との運命共同体である協同組織金融機関として、創業以来一貫して各々のライフステージにおける取引先に対し、最適なソリューションの提案等、持続可能な地域づくりに努めています。

中小企業等のライフステージに沿った取組み

(1) 事業性評価への取組み

当金庫では、お客さまの決算内容や担保・保証の状況だけでなく、事業の内容や成長可能性等を適切に評価したうえでご融資に対する助言を行い、お客さまの成長に向けて支援できるよう取り組んでいます。また、お客さまのニーズにお応えするだけでなく、本業の抱えるあらゆる経営課題の解決に向け、お客さまと対話を重ね、悩みを共有しながら、伴走型支援に取り組んでいます。

(2) 事業承継支援への取組み

滋賀県事業支援ネットワークに参画し、当金庫のお取引先 475 先に対し、平成 30 年 12 月に事業承継についてのヒアリング調査を実施しました。その結果、後継者あり約 6 割、後継者なし約 4 割の結果でした。お取引先の後継者不足が深刻化しており、今後もお取引先を継続して支援していくために、当金庫において新たに事業承継支援ブロック専担者 10 名を任命しました。

また、事業承継サイトを起ち上げ、事業承継に関するあらゆる情報を共有化して、ノウハウを蓄積していくとともに、事業譲渡、合併、資本提携等を考えておられるお取引先に対して、仲介業務を協力するために、新たに信金キャピタルと業務提携を結びました。外部機関との連携や、フォローアップを通じてお取引先の事業承継のためのあらゆる支援を展開していきます。

	法 人	個 人	全 体
後継者あり	157 先	113 先	270 先
後継者なし	57 先	148 先	205 先
合 計	214 先	261 先	475 先

(3) 日本政策金融公庫との創業分野における連携スキームの構築

平成 25 年 11 月、日本政策金融公庫国民生活事業と創業期におけるサポートについて連携契約を締結。平成 27 年 11 月には、日本政策金融公庫農林水産事業との間で農業分野における連携を目的に業務委託契約を締結しております。また、創業関連提携商品「近江翔人」やパッケージ商品「農業応援ローン」の取扱いを行い、連携強化を図っております。

2018年度新規創業向け日本政策金融公庫との協調融資	7件	49百万円
2018年度新規創業以外の日本政策金融公庫との協調融資	4件	55百万円

(4) 医療・介護分野に対する支援

滋賀県医師協同組合員向け提携商品「ドクタープラチナム」や「ドクタープラチナム フリー」の取扱いによる医療分野の支援強化に取り組んでいます。

2018年度医療分野への新規融資	1先	15百万円
------------------	----	-------

(5) 「ながしん創業助成金制度」による支援

事業者の育成と地域産業の復興を図り、さらには地域社会全体の活性化を促進することを目的に、創業を目指す事業者の方を対象とした創業助成金制度の運用を平成29年7月3日から開始しております。



2018年度創業支援融資	15件	148百万円
内、創業助成金支給対象融資	10件	77百万円

(6) お取引先企業に対する経営改善支援への取組み実績

当金庫は、お取引先企業に対する経営相談・経営指導及び経営改善に向けた取組みについては、最優先課題として積極的な取組みを行っています。外部機関との連携や、フォローアップを通じてお取引企業の経営強化のための支援を展開しています。

2018年度取組先実績（再策定を含む）

17先

・新規経営支援取組先

7先（延べ支援先 151先）

(内訳) 当金庫独自支援	3先
保証協会経営診断事業活用他	4先

・再策定支援

10先

(内訳) 当金庫独自支援	3先
支援センター事業活用	2先
保証協会経営診断事業活用他	5先

・定期的なモニタリング

59 先（延べ 101 回実施）

内、滋賀県信用保証協会経営サポート会議開催	7 先（延べ9 回実施）
-----------------------	--------------

・外部機関との連携による支援

滋賀県保証協会「経営安定化支援事業（専門家派遣）」の紹介	2 先
------------------------------	-----

(7) 「ながしん若手経営者の会」の開催

「ながしん経営塾」は平成 20 年 1 月より、新しい時代の経営環境に適応出来る経営者と経営組織を創設することを目的として発足しました。その後、平成 28 年 1 月には「ながしん若手経営者の会」として新しくスタートし充実した活動を企画・開催しております。2018 年度の活動は下記のとおりです。なお、2018 年度の会員数は 99 名で累計 140 名の経営者の方にご参加いただきました。

ながしん若手経営者の会 オープンセミナー
『ミッション : 経営の原点に戻る』

元スターバックスCEO
立教大学 特任教授

株式会社
リーダーシップ コンサルティング
代表取締役 岩田 松雄氏

講師紹介

1969年 大阪府生まれ、1992年 立教大学経済学部卒業、日本橋総合学院、1999年 日本
コロ・コーポレーションジャパン代表取締役社長、2000年 ㈱アトラスの代表取締役
に就任、中経建設の代表取締役、2005年 17年度VCSの代表取締役兼中経コン
フレックスの代表取締役社長に就任、最上が隆、2009年 スターバックスコミュニケー
ションの代表取締役社長に就任、11年度中経コンフレックスにて、経営塾の発
起人、滋賀県若手経営者会設立、2013年 リーダー育成のため、㈱リーダーシップコン
サルティング設立、㈱のセールスマンから経営者へ転身し、経営塾の立ち上げ、経営者としての
経験から、企業に必要とされる経営者としてのスキルアップ(経営塾)の必要性を、スター
バックスの事例を例にあげ、ご説明いただき、また改めて「リーダー(経営者)に必要と
されるスキル」についてご説明いただきました。

とき 平成30年11月21日(水) 14:30より
ところ 北ビワコホテル グラツィエ

長浜信用金庫

	内 容	講 師
第 1 回	「補助金・助成金活用セミナー」	西村経営労務管理事務所 西村氏
第 2 回	「変化の激しい時代においても発展する 企業の五大条件とは」	滋賀県中小企業診断士協会 会長 田中氏
第 3 回	(株) ISOWA 本社・工場視察	(株) ISOWA 代取 磯輪氏
第 4 回	「ミッション：経営の原点に戻る」	元スターバックス CEO 岩田氏
第 5 回	「126 年目のベンチャー企業」 ～老舗企業の経営進化論～	梅乃宿酒造(株) 五代目蔵元 代取 吉田氏

(8) 販路拡大支援への取組み

当金庫では、「滋賀県知財所有権センター」開催の「しが知財ビジネスマッチング」へお取引先 5 社を紹介させていただき、また、NEXCO 西日本グループが主催している「関西ハイウェイ大商談会」にもお取引先 6 社を紹介させていただきました。

信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫の「ビジネスマッチング情報掲載ページ」にも地元特産品を紹介するなど、販路拡大を目指す地域のお取引先を支援させていただいております。

(9) 地域クラウドファンディングサービス

地域クラウドファンディングサービス「FAAVO（ファーボ）しが」「FAAVO（ファーボ）北びわこ」を活用した新たな資金調達を紹介し、「夢」に挑戦する方々を積極的に応援するために、28年4月の取扱い開始以降、5先のお客さまが同サービスを利用して資金調達を行われました。

(10) 「Origami Pay」との提携

今後普及が予想される「キャッシュレス決済」に対応するため、(株)Origamiと平成30年10月22日に提携し、お取引先企業189社が加盟店登録いたしました。これにより、キャッシュレス決済サービスがご利用できるようになり、商店街の活性化やインバウンド観光客等受入体制を支援させていただいております。

(11) 年金相談会の開催

当金庫では、長年にわたり本部に年金専担者を配置し、日々、年金のお手続きや各種年金に係るご相談等に営業店と連携し対応しております。また、定期的に社会保険労務士と年金担当者による年金相談を実施しております。

全店舗、年2回実施（平成2年より実施）

2016年度	28回	377人
2017年度	28回	409人
2018年度	28回	410人



当金庫で年金をお受取りいただいているお客さまには、ながしん「グランドウイング」の会員になって頂き、いろいろな特典や割引サービスをご利用いただいております。

特典として観劇会・日帰り旅行へご優待しております。

平成30年7月 大阪新歌舞伎座の「三山ひろし公演」 367名参加

平成30年10月 「ヒルトン名古屋ランチbuffetと徳川美術館・名古屋城」 240名参加

また昨年度より、新たに「地元温泉入浴券付お食事券ペアチケット」のサービスを開始し、1月、4月、7月、10月に抽選の結果、100名の方にペアチケット（200名）をプレゼントさせていただきました。

(12) 各種相談会の開催

・「遺言・相続相談会」の開催

日弁連は11月15日(いい遺言)を「遺言の日」としており、当金庫は弁護士会と連携し同日に遺言・相続に関する無料相談会を開催、弁護士が9名のお客さまのご相談に対応いたしました。

・休日ローン相談会の開催

平成27年10月からは、年金相談日に合わせて、営業店の休日ローン相談会を12回開催させていただきました。

(13) 金銭信託商品の取扱い

お客さまの様々なニーズにお応えするため、信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫の信託契約代理店として、金銭信託商品の取扱いを平成29年7月3日開始し、3件受付しております。

商品名	商品の特徴
しんきん相続信託「こころのバトン」	ご自分の将来やご家族の未来のために、必要となる資金をあらかじめ準備できます。
しんきん暦年信託「こころのリボン」	お子さまへ、お孫さまへ、ご家族へ、生前贈与をサポートします。

(14) 「後見支援預金」の取扱い開始

後見制度による支援を受けるお客さまの財産をお守りするために平成30年6月1日から取扱いを開始しております。日常的な支払をされるお金とは別に、通常使用されないお金を「後見支援預金」として別管理します。家庭裁判所の関与のもと透明性の高い適切な管理ができ、お客さまの財産保護・管理にかかる不測のトラブル等を防止します。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

持続的な地域貢献を念頭に置き、金融にとどまらず情報、ノウハウ、人材等の提供を通じて地方公共団体・経済団体等との連携強化を図りながら、地域活性化に努めています。

(1) 長浜市・米原市の地域活性化策への協力

「長浜市中心市街地活性化基本計画」(第2期:2014年度~2019年度)への参画

JR長浜駅前の都市機能の再構築等さらなる街の活性化を目指した本計画を受け、長浜市と長浜商工会議所が長浜駅周辺のエリアマネジメントを行う「えきまち長浜(株)」(第3セクター)を設置し、当金庫も1百万円を出資しました。当金庫としても長浜市中心市街地活性化協議会、長浜市地域経済改革会議、長浜市住民まちづくり事業審査会に参加し、地域の発展、活性化にむけて取組んでいます。

(2) 各種諸団体の産業振興・地域活性化策への協力

「長浜市産業振興ビジョン」、「長浜ビジネスサポート協議会」への参画

長浜市は、地域特性を活かした中長期的な産業振興戦略である「長浜市産業振興ビジョン」を平成 24 年 5 月に策定され、ビジョンの推進にあたって平成 24 年 6 月に「長浜ビジネスサポート協議会」が長浜商工会議所とエリア内 4 商工会との連携により設立されました。当金庫からも各種研究機関や他の市内金融機関とともにアドバイザーとして参画しています。

(3) 地域活性化に向けた支援

【滋賀県】

平成 28 年 7 月 20 日に滋賀県と県内 3 信用金庫および信金中央金庫が、それぞれが有する人的、物的資源を有効に活用するため、「滋賀県と県内 3 信用金庫および信金中央金庫との産業振興等に関する協定」を締結しました。県内の産業の振興発展および地域の活性化について連携して取組みます。

【長浜市】

長浜市が市北部地域振興の一環として、観光資源の開発を検討するにあたり、平成 30 年 10 月 24 日に長浜市と「長浜市北部地域振興に関するニーズ分析調査に関する覚書」を締結。当金庫は、信金中央金庫や長浜市とともに長浜市民や観光客に対するアンケート調査、関係団体へのヒアリング調査、他県で先行している集客状況事例調査を行い、長浜市に情報提供等支援活動を行いました。

【米原市】

「平成 30 年度 第 1 回米原まち、ひと、しごと創生に関する有識者会議」に参加し、平成 30 年度米原創生総合戦略事業の評価や次年度事業計画に対するアドバイス等の支援をさせていただきました。

【その他の取組み】～地域活性化への多様なサービスの提供

- ①空き家対策資金として、平成 27 年 8 月より「資産活用応援ローン」の取扱いを開始しています。本商品は、アパート・マンション・貸ビル・貸店舗等の改修資金、その他所有不動産の有効活用として幅広くご利用可能な商品設計となっています。なお、融資実績は 5 件で 25 百万円の実績となっています。
- ②子育て世代にやさしい社会を金融面から応援することを目的に、普通預金口座「のびのびフォト通帳」、「子育て応援定期積金わくわく」を発売し、のびのびフォト通帳は 3,657 口座、子育て応援定期積金わくわくは 2,260 口座となりました。

③金利優遇定期預金

当金庫では、平成 30 年 4 月 2 日から平成 31 年 3 月 29 日の期間において、金利優遇定期預金“ながしんW”を発売いたしました。新規で 10 万円以上をお預けの方に、当初期間と自動継続 1 回目のダブルの期間を金融優遇する商品で、17,939 口座、248 億円のお預けをいただきました。

④ A T M 専用定期預金

平成 29 年 12 月 1 日より、A T M 専用定期預金の取扱いを開始いたしました。本商品は当金庫 A T M でお預けいただく商品で、期間 1 年で 0.125% の金利適用となります。なお、取扱開始以降 243 口座のご利用をいただいております。

⑤ATM の一日あたりの出金限度額の引下げ

当金庫は、キャッシュカードおよび現金詐欺等による特殊詐欺の防止策の一環（被害額の極小化）として、ATM による個人の 1 日あたりの出金限度額を 50 万円に引下げしました。また、多発する高齢者の振り込め詐欺撲滅への啓発活動として、滋賀県警ならびに長浜警察署のご協力のもと、6 月 15 日の「信用金庫の日」に本店、ならびに七条支店にて啓発活動を実施いたしました。



⑥全職員が認知症サポーター養成講座を受講

認知症サポーターは、認知症の方とその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつくっていく運動で、当金庫は、平成 24 年 9 月より 3 回に分けて全職員が同養成講座を受講し認知症サポーターとなっています。また、当金庫女性職員が認知症キャラバンメイトの資格を有し、毎年、4 月には新入職員が養成講座を受講しております。金融機関は、訪問先、窓口等において認知症の方と接する機会も多い業務であり、全職員が養成講座を通して正しい認識を持つことで、よりよい対応ができる環境づくりに努めております。



【文化、スポーツ事業への協賛】

- 「長浜信用金庫理事長杯少年野球大会」を後援



平成 30 年 5 月 13 日～6 月 9 日
18 チーム 約 200 人が参加

- 湖北地区親善ゲートボール大会への協賛

平成 30 年 6 月 12 日
50 チーム 約 260 人が参加



- 「第20回湖北ママさんバレーボール大会」に協賛



平成30年10月28日
長浜市・米原市より
8チーム 約80名が参加

- 「第36回湖北珠算暗算競技大会」に協賛
平成30年11月11日
長浜市・米原市の小学生93名が参加



【ボランティア活動】

- びわ湖長浜ツーデーマーチへの参加

平成30年5月12日～13日参加者29名（うち、ボランティア19名）今回で同イベントは26回を迎え、当金庫は第1回大会からボランティア協力しています。



- 「第5回近世城下町ふるさとまつり」にボランティア参加

平成30年6月9日
7名が参加



●献血（滋賀県赤十字血液センター）への協力



平成 30 年 6 月 13 日
30 名が献血

●びわこ一斉清掃へのボランティア参加

平成 30 年 7 月 1 日 14 名が参加



●「長浜総おどり」への参加



平成 30 年 8 月 4 日
当金庫より、男性 25 名、女性
16 名の計 41 名が参加

●長浜芸術版楽市楽座「アートインナガハマ」に協賛

平成 30 年 10 月 6 日・7 日
当金庫より、男性 25 名、女性 10 名の
計 35 名が参加



●店舗周辺の清掃活動の実施

当金庫の信友会（職員親睦会）では、毎月定期的に店舗周辺の清掃活動を継続実施しています。